

令和6年度 SSH オーストラリア海外研修報告

2月8日～13日、生徒3名がオーストラリアのコフスハーバーを訪問し、サザンクロス大学海洋科学研究所においてウミガメやサンゴの保護をテーマとした英語による研究発表と研修をおこないました。地球温暖化と環境保全という大きなテーマを見据えた、充実した研修となりました。

実施目的

参加生徒に、環境問題に関連した研究を国際的環境のなかで発表させる。大学研究者との意見交換を通じて各自の研究を深化させ、多様な生態系の連関を学びと環境保護の方法について視野を広げる。その研修成果を校内発表会等を通じて下級生と共有し、国際的環境な環境で研究することへの関心と意欲を生徒たちに喚起する。

研修内容

- ・生徒による実験計画のプレゼンテーションとディスカッション、レクチャー受講
- ・ラボラトリーでの実験
- ・荒磯でのフィールドワーク、多雨林の視察
- ・海洋生物保護施設の訪問

スケジュール

2月8日（木）

夕方、羽田空港集合。深夜便でオーストラリア、シドニー国際空港へ出発。

2月9日（金）

シドニー国際空港にて国内便に乗り継ぎ、夕方コフスハーバー空港着。ホテルにチェックイン後、明日のプレゼンテーション準備。

2月10日（土）

午前：サザンクロス大学海洋科学研究所にて、科学的調査の方法についてのレクチャー。生徒によるプレゼンテーション：Restoration of coral bleaching phenomenon using green fluorescence / Maintenance of normal sex ratio between male and female turtle by titanium dioxide

午後：ウールクルガにて荒磯の生態系のフィールドワーク。

2月11日（日）

午前：コフス・コースト・ワイルド・サンクチュアリにて、ウミガメの保護についての研修。

午後：ドリリング国立公園にて多雨林 rain forest の視察。

2月12日（月）

午前：サザンクロス大学海洋科学研究所のラボにて、地球温暖化の海洋生態系への影響についてのレクチャー。サンゴ保護についての実験。陸生植物保護と海洋生物保護の連関についてのディスカッション。

午後：コフスハーバー空港より国内便にてシドニー国際空港へ向かう。同日の深夜便にて羽田空港へ

出発。

2月13日(火)

朝、羽田空港にて解散。





